
【番号・テーマ】 6. 食

【单元名】 お昼ごはんは何食べる？

【基本情報】

授業時間・形態：100分（2コマ×50分）

学習歴：1年目

クラスサイズ：（ ） 10名以下 (○) 10～20名 () 20～30名 () 30名以上

レベル：(○) A1.1 (○) A1 (○) A2 () B1

【授業の位置づけ】 第二外国語、選択

【单元の目標】

- ・食べ物（食材）の捉え方・表し方を理解することができる。
 - ・食べるものを表すこと、尋ねることができる。
 - ・食べるものについて、簡単な評価ができる。
-

【具体的な学習事項】

【单元に該当する指標形式の目標】

やりとり	<ul style="list-style-type: none">・食べ物（食材）を表すことができる。・食べるものについて表すこと、尋ねることができる。・食べ物について、簡単な印象を表すことができる。
------	---

【具体的な評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・部分冠詞を用いた食材の表現を理解し、適切に使うことができる。・食べるものについて、相手に伝えることができ、相手に尋ねることができる。・食べ物の印象を伝えるための表現を理解し、適切に使うことができる。	<ul style="list-style-type: none">・食べるものについて、口頭で表現でき、書くことができる。・Ça a l'air bon/mauvaisの表現を用いて、食べ物の簡単な印象を伝えることができる。・フランスの学校の食堂の様子から、前菜やデザートに分類される食材に注目し、日本との違いに気付くことができる。	<ul style="list-style-type: none">・間違えることを恐れずに話すことができる。・相手の話していることに耳を傾けることができる。・グループワークにおいて、互いに協力しながら、タスクに取り組むことができる。・フランスの学校の食堂の様子から、メニューの構成や配膳の仕方について理解することができる。

〔目標とする言語項目と社会文化項目〕

言語項目

何を食べるかを尋ねる表現：Qu'est-ce que vous mangez à midi ?

食べるものを伝える表現：Je mange du riz, du poulet, de la soupe, de la salade...

印象を伝える表現：Ça a l'air bon / mauvais.

何を使って食事をするかを伝える表現：Au Japon, on mange avec des baguettes.

想定される既習文法事項

主語人称代名詞、動詞 (être, avoir, -er)、定・不定冠詞、疑問文、否定文、数字 (1 から 20)、on

社会文化項目

フランスの学校ではお昼を自宅で取る生徒が多いことを理解する。その上で、学校でお昼を食べる場合の食堂の様子を見ることで、前菜・主菜・デザートメニュー構成を理解すると同時に、どのようなものが前菜やデザートとして提供されるのか、日本の場合と比較しながら類似点・相違点を理解する。

【授業資料】

〔第1次〕 食材の写真やイラスト、白紙 (お弁当を作る用紙)、色鉛筆

〔第2次〕 フランスの学校の食堂の様子が分かる映像 (TV5)、ルーブリックシート (グループ評価用)、ルーブリックシート (個人評価用)、配膳のイラスト (セット)

【授業の過程】

[第1次]

展開：

1. 食材の語彙を提示しながら部分冠詞を発見させる
2. 不定冠詞との比較から部分冠詞を理解する：グループ・ペア活動
3. 部分冠詞の応用としてお弁当を作る（描く）：グループ活動
4. まとめ・振り返り

[第2次]

展開：

1. 評価基準をもとに、できあがったお弁当をプレゼンする：グループ活動
2. ルーブリックをもとに評価する
3. 文化的事象の学び①
4. 文化的事象の学び②
5. まとめ・振り返り

第1次

時間	生徒の学習活動	教師の活動及び指導支援	評価の観点・評価基準
導入 5分	【挨拶と導入】	挨拶 出欠確認 本時の内容として、テーマ・食を取り上げることを伝える。	
展開① 25分	【部分冠詞の発見】 教師の発音を聞きながら、イラストと教師の板書を見ながら、文字と意味を確認する(8分)。	Qu'est-ce que vous mangez à midi ? (板書) (用意していた写真・イラストを見せながら Vous mangez du…/de la…? とも) 生徒の意見を受け、用意していた写真・イラストを見せながら oui, ça, c'est du…, de la…と提示しつつ、性によって色分けした部分冠詞を添えて発音しながら、黒板にフランス語で語彙を書いていく。 <注目させる語彙> du riz, du poulet (frit), du saumon (grillé), du poisson… du pain, du fromage…	既習事項(er 動詞として manger、疑問文 Qu'est-ce que)を理解しているか。 積極的に発言しているか。

	<p>ノートに板書を書き写す（5分）。</p>	<p>de la soupe, de la viande, de la salade… de l'omelette (japonaise)…</p> <p>上の語彙を書き終えたら、ノートに板書を書き写すよう指示。</p>	<p>フランス語を正しく綴れているか。</p>
	<p>【不定冠詞との比較から部分冠詞を理解する】</p> <p>不定冠詞と部分冠詞の違いがどんな意味の違いを表していると言えそうか、グループで考え、意見を述べる（6分）。</p> <p>全体で板書した語彙を発音し、ノートに書き写し、モデル会話をペアで練習する（6分）。</p>	<p>用意していた「魚一匹 un poisson」と「切り身魚 du poisson」の写真・イラストと、「鶏の丸焼き un poulet」と「鶏肉の唐揚げ（部分が分かるもの） du poulet」の写真・イラストを見せながら、不定冠詞と部分冠詞の違いがどんな意味の違いを表していると言えそうか、グループで考えさせ、意見を述べさせる。</p> <p>意見を聞いた後、部分・量として捉えることを説明し、du, de la, de l'の使い分けを簡単にまとめる。</p> <p>板書した部分冠詞の発音をした後、次のモデル会話を板書に加えながら意味を確認・説明する。</p> <p><モデル会話・板書> A : Tu manges du riz… ? B : Oui. Je mange du riz. Non. Je ne mange pas de riz.</p> <p>既習している「否定の de」に留意しながら簡単に説明し、ノートに書き写すよう指示する。</p> <p>ペアワークを指示し、oui, non については自由にどちらかを選んで答えるように伝える。</p>	<p>不定冠詞と部分冠詞の意味の違いを積極的に見出そうとしているか。</p> <p>フランス語をしっかりと発音しているか。</p> <p>ペアできちんと練習しているか。</p>
<p>展開②</p>	<p>【グループワークによる部分</p>	<p>お弁当の具材は板書で示したもの</p>	

15分	<p>冠詞の応用】</p> <p>「お弁当を作ってみよう！」グループワーク (1 グループ 4-5人)で学んだ部分冠詞を用いてお弁当を作ってみる。モデル会話を発音し、ノートに書き写す。部分冠詞付きの語彙を添えて、グループワークで絵を描く。</p>	<p>を自由に使うよう指示。(A3用紙と色鉛筆を配布)。</p> <p>グループで作ったお弁当は個人のノートにも書くよう指示する。</p> <p>次の時間にモデル会話を発音して発表してもらうことを説明する。</p> <p>モデル会話の説明と発音も全体で行い、書き写すよう指示する。</p> <p><モデル会話・板書></p> <p>A : Qu'est-ce que vous avez ?</p> <p>B : Nous avons...</p> <p>A : Ça a l'air bon/mauvais !</p>	<p>グループ内で協働作業をしながら積極的に取り組んでいるか。</p> <p>部分冠詞を正しく書き表しているか。</p> <p>時間をかけ過ぎないように留意する。</p>
まとめと振り返り 5分	<p>【まとめと振り返り】</p>	<p>部分冠詞は何を表すために用いるのか、全体または誰かに当てて確認する。</p>	<p>部分冠詞と既習項目 (不定冠詞・定冠詞)の違いを理解しているか。</p>

第2次

時間	生徒の学習活動	教師の活動及び指導支援	評価の観点・評価基準
導入 2分	<p>【本時の目標説明】</p>	<p>本時の内容として、グループワークの発表をした後、食に関する文化的事象を学ぶことを伝える。</p>	
展開① 13分	<p>【グループワーク作品の発表】</p> <p>グループごとにできたお弁当を、モデル会話 B の部分で紹介する。</p> <p>発表しないグループまたは教師に当てられた個人はモデル会話の A を発言する。</p>	<p>聞き手の生徒にも簡単な感想を述べさせるため、モデル会話を板書・説明して読んでから、グループごとに発表させる。</p> <p><モデル会話・板書></p> <p>A : Qu'est-ce que vous avez ?</p> <p>B : Nous avons...</p> <p>A : Ça a l'air bon/mauvais !</p>	<p>ルーブリックに基づいて評価する。</p>
展開② 15分	<p>【食から広がる文化的事象①の学び】</p> <p>「文化的事象の学び」</p>	<p>(中学・) 高等学校のお昼事情の説明。</p> <p>板書でポイントになる項目を提示し、それに注意して見るよう、タス</p>	<p>異文化に対する興味関心があるか。</p> <p>ビデオを見る作業が</p>

<p>TV5 のビデオ (約 2 分) を見て (iPad を用いる)、ある中学校の食堂の様子を確認する。</p>	<p>クを与えて理解を促す。</p> <p>板書のタスク例：</p> <p>「どこで、誰が、何を」食べていたか。(ビデオが見られない場合でも検索しておいた食堂のメニュー表などを示して代用可能)</p> <p>日本：お昼にお弁当か給食 フランス：学校にお弁当を持って行くことはなく、食堂 (約 6 割) か自宅に戻ってお昼を食べる。但し、日本文化の影響でお弁当を利用する社会人が増えてきていることや、「bento」という単語も百科事典に掲載されている (時間に応じてサイトチェックをさせても良い)。</p>	<p>できているか (iPad の使い方)。</p>
<p>見た後で板書のタスク項目に基づく意見を述べたり、教師の質問に答えたりする。</p> <p>語彙 (entrée, plat, dessert) の板書をノートに書き写す。</p> <p>板書されているものが、それぞれ entrée, plat, dessert の何に当たるかグループで考え、分類する (7 分)。</p>	<p>どこで、誰が、何を食べていたかを確認しながら、フランス語の語彙を板書する。</p> <p>サラダ、スイカを確認しつつ、メニューの構成として前菜 (サラダ、スイカ)・主菜・デザート (りんごタルト)があることを、語彙 (entrée, plat, dessert) を導入しながら説明、板書する。</p> <p>食べていたもの (クレープ、ラザニア、鳥のカレー風味) は家庭でもよく作るメニューであること、食事用のクレープについても簡潔に伝える。</p> <p>これまでに挙げられたもの (板書されているもの) がそれぞれ何に当たるか、グループで話し合っ て分類させる。(ビデオが見られない場合で</p>	<p>文化的な相違点を見つけることができる相違点から背後にある文化的習慣の違いについて考察できる</p>

	<p>(選ばれたグループは) グループワークの結果を黒板に書き示す。</p> <p>残り時間に応じて、教師が指定する百科事典のサイトで bento の語を確認したり、もう一度ビデオを見る。</p>	<p>もメニュー構成をイラストで示して代用可能)</p> <p>食堂のメニューに選択肢があるなど日本の給食スタイルとは異なる点についても気づかせ、文化的事象の相違点に注目させる。</p> <p>様子を見ながら、グループワークの成果を板書させる。時間に余裕があれば2グループにあてて黒板に異なる色で分類を書かせる。余裕がなければ一つのグループにのみ書かせて、他のグループに異なる点がないかを尋ねて、正解を説明しながら確認していく。なお、同時に、前菜・主菜・デザート の順でまとめられるようにイラストの配置を整える。</p> <p>時間が許せば、百科事典のサイトで bento の語 (発音も聞かせる) を確認したり、締めくくりにもう一度ビデオを見る。</p>	
<p>展開③ 15分</p>	<p>【食から広がる文化的事象②の学び】</p> <p>on の理解</p> <p>ビデオを思い出しながら (ビデオを見られない場合、フランスでは何を使って食事をするか考え) 教師の質問に答える。</p>	<p>食材や学食情報などを振り返りつつ、次のモデル文に基づき、日本では箸で食べることをフランス語で表現する。</p> <p><モデル文・板書> Au Japon, on mange avec des baguettes.</p> <p>on について簡単に説明する。 ビデオでは何を使って食べていたか尋ねる。</p> <p>出てくる意見と共に、食事をする時</p>	<p>文化的な相違点を見つけてることができる相違点から背後にある文化的習慣の違いについて考察できる</p>

	<p>語彙を発音し、ノートに書き写す。</p> <p>配布資料を基に、グループで正しいと思われる配膳の仕方を机の上に並べてみる。</p> <p>(選ばれたグループ・代表者は) グループワークの結果を黒板に書き示すが、語彙を言いながら提示する。</p> <p>時間がある場合に教師の指示に従って、iPad を用いて情報を検索する。</p>	<p>に使う食器やテーブルの上に並べるものの語彙(フォーク、スプーン、ナイフ、お皿、ナプキン)をイラストと共に板書・提示し(資料3)、発音した後、ノートに書かせる。</p> <p>語彙(5つのみ): fourchette, cuillère, couteau, assiette, serviette</p> <p>書き終わったら、グループごとに配膳のイラスト・セットを配布する。それぞれをどのようにテーブルに置くか、配膳の仕方について、グループごとに考えさせる(グループに1セットずつ配る)。</p> <p>一つのグループをあて、できた配膳の仕方を黒板で再現させる(マグネット)。習った5つの語彙をすべて言いながらそれぞれ提示するように指示する。内容を確認しながら正しい(慣例的)配膳を提示する。</p> <p>時間があれば iPad を使ってレストランのメニューや、お弁当のサイトをのぞいてみる(教師がサイトを指定)。</p> <p>同じく時間・状況に応じて、ここで百科事典のサイトへ行き bento の語を確認させても良い。</p>	
<p>まとめ と振り 返り 5分</p>	<p>【まとめ】 「振り返りシート」に記入する。</p>	<p>「振り返りシート」に記入させる。</p>	